

公開研究会

文化と観光～2020 年に向けて～

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、年間 4000 万人の外国人観光客の訪日が予定されています。文化交流を進める絶好の機会といえますが、これを受け入れる地域の体制は十分整っているでしょうか。本研究会では、行政や文化施設、芸術文化団体等が、2020 年及びそれ以降に向け、踏まえておくべき文化観光のあり方について議論します。文化観光を研究されている古池嘉和教授の基調講演に引き続き、大分県で芸術祭を通じた地域振興・観光振興に取り組んでこられた NPO 法人 BEPPU PROJECT の山出淳也代表理事に事例報告をしていただき、最後にパネルディスカッションを行います。奈良県では本年 9 月に「第 32 回国民文化祭・なら 2017」と「第 17 回全国障害者芸術・文化祭なら大会」を一体開催し、翌年度は大分県で開催されます。これらを 2020 年につなげ、さらに 2020 年以降にレガシーとして何を残すのかを参加者の皆様と考えます。

日時：平成 29 年 2 月 5 日（日）13:30～16:30（13:00 より受付開始）

会場：ホテルサンルート奈良

（住所：奈良県奈良市高畑町 1110 ）

参加費：無料

主催：奈良県大芸術祭実行委員会、奈良県

協力：公立大学法人静岡文化芸術大学大学院 文化政策研究科、SUAC 文化政策・経営フォーラム

<プログラム>

○基調講演：文化と観光をめぐる諸相—2020 年に向けた地域からの問いかけ—
古池嘉和（名古屋学院大学 現代社会学部 教授）

○事例報告：芸術祭による地域振興、観光振興～大分県からの実践報告
山出淳也（NPO 法人 BEPPU PROJECT 代表理事）

○パネルディスカッション：2020 年に向けた文化と観光、そのレガシー
コーディネーター

片山泰輔（静岡文化芸術大学教授・大学院文化政策研究科長）

パネリスト

古池嘉和、山出淳也 ほか

■申込方法（申込締切：平成 29 年 1 月 31 日）

奈良県大芸術祭実行委員会事務局あてに「郵便番号」「住所」「氏名」「年齢」「電話番号」「希望人数」を記載のうえ、FAX（番号：0742-27-8466）にてお申し込みください。

※参加証等の発送は行いませんので、お申し込みのうえ、当日会場までお越しください。

※先着順 定員（50 名程度）になり次第締切

■問合せ先

奈良県大芸術祭実行委員会事務局

〒630-8213 奈良市登大路町 6-2

TEL:0742-27-8488,FAX:0742-27-8466

<登壇者プロフィール>

■古池嘉和（こいけよしかず） 名古屋学院大学現代社会学部教授

1959年名古屋市生まれ。筑波大学大学院環境科学研究科修了／福井県立大学経済・経営学研究科単位取得満期退学。博士（経済学）。岐阜女子大学／富山大学教授を経て、現在、名古屋学院大学現代社会学部教授。著書に『観光地の賞味期限―「暮らしと観光」の文化論』春風社(2007)、『地域の産業・文化と観光まちづくり―創造性を育むツーリズム』学芸出版社(2011)等多数。海外招待講演「韓・日間文化観光交流（主催：江原道、江原行政學會 2004.10）」、「伝統工芸や観光を活かした地域づくり」（主催；台南市政府文化局 2013.4）。その他「名古屋文化遺産活用実行委員会」会長、「富山県文化審議会」委員等を歴任。

■山出淳也（やまいでじゅんや） NPO 法人 BEPPU PROJECT 代表理事／アーティスト

1970年大分生まれ。PS1 インターナショナルスタジオプログラム参加(2000～01)。文化庁在外研修員としてパリに滞在(2002～04)。アーティストとして参加した主な展覧会として「台北ビエンナーレ」台北市立美術館(2000～01)、「GIFT OF HOPE」東京都現代美術館(2000～01)、「Exposition collective」Palais de Tokyo、パリ(2002)など多数。帰国後、地域や多様な団体との連携による国際展開を目指して、2005年に BEPPU PROJECT を立ち上げ現在にいたる。別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合プロデューサー（2009、2012、2015）、国東半島芸術祭 総合ディレクター(2014)、おおいたトイレンナーレ 総合ディレクター(2015)、「in BEPPU」総合プロデューサー(2016～)、国民文化祭おおいた 2018 市町村事業 アドバイザー(2016～)、平成 20 年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞(芸術振興部門)、文化庁第 14 期文化政策部会 文化審議会委員。

■片山泰輔（かたやまたいすけ） 静岡文化芸術大学文化政策学部教授・大学院文化政策研究科長

1964年東京生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業、東京大学大学院経済学研究科修士課程修了、同博士後期課程単位取得満期退学。専門は財政・公共経済、芸術文化政策。公職として日本文化政策学会 副会長、日本アートマネジメント学会運営委員・編集委員長、公益財団法人東京交響楽団 評議員、一般社団法人浜松創造都市協議会代表理事、文化審議会委員・文化政策部会長代理等。1995年、芸術支援の経済学的根拠に関する研究で日本経済政策学会賞、2007年、著書『アメリカの芸術文化政策』で日本公共政策学会賞(著作賞)受賞。共編著に『アーツ・マネジメント概論 三訂版』（水曜社、2009年）、共著書に『指定管理者は今どうなっているか』（水曜社、2007年）等。

